

こんな犬に心当たりは

ありませんか

黒滝部落に迷ってきたのか捨てられたのか、白色の雄犬と黒毛に茶のしまがあり前足に少し白い毛のある雌犬の三匹が住み着き二カ月近くなる。

三匹とも耳のピンと立ったかなりの大型である。どうも白い軽トラックで運ばれてきたらしい。

我が家に現れたのは、白の雄が一番早く、次が黒の雌で大きいやつ、最後に少し小さい雌である。どうも一緒に飼われていたらしく、とても仲

良しである。最初はおどおどしていたが、今ではすっかり慣れて時々訪れる来客をほえることもある。

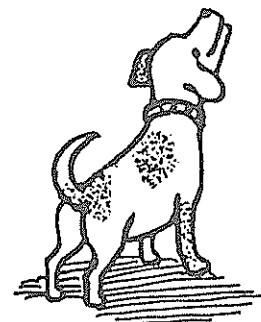
我が家で与える少量の食事でとても腹いっぱいになるはずはないが、部落内の人が少しずつ与えるので、最近はおまりがつかつしなくなっている。

「衣食足りて礼節を知る」ということわざは犬にも通用するらしい。今のところ台所を荒らしたり、鶏小屋を荒らす

ということも聞かない。かなり訓練された猟犬らしく、最近ハクビシンを二匹取ってきたが、決して隠したり、勝手に食するようなそぶりもなかった。

食と住の心配はなくなったが、やはり主人は恋しいらしく軽トラックを見ると運転席をのぞくように見て、主人でないことがわかるとすぐそこと離れる仕草など見ていると哀れである。

今のところ人に危害を加える心配はまずないと思うが、そこは犬のこと万一ということもあり、このままだとでもはとも面倒は見きれない。七月になればキャンプなどでかなり大勢の子供たちも訪れるので、それまでに犬の身の振り方を決めねばと部落で話し合っている。不要大引き取り所に連れて行くことは簡単であるが、必ず死の待つ引き



(佐竹正寛・黒滝)

葉たばこ品評会

Aランクに別役さん、竹崎さん

生産技術の向上と、農家相互の情報交換などを目的に、六月二十六日、今年も葉たばこ作柄品評会が実施されました。

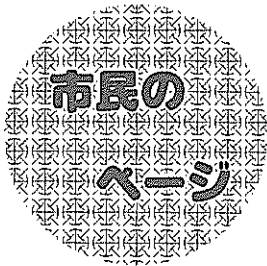
この品評会は、南国市葉た



ばこ推進協議会(吉川速雄会長)の主催で毎年開いているもの。本市久礼田は県内の葉たばこ発祥の地。今年は天候不順でしたが、昨年以上の収量、販売単価が見込まれています。

結果は次のとおりです。

- Aランク 別役俊夫(長岡)、竹崎千香子(日章)
- Bランク 伊尾木富美(長岡)、橋田義夫(長岡)、武田泰尋(野田)、福井誠一(三和)
- Cランク 柳瀬藤子(久礼田)、鍋島良政(久礼田)、竹中浩(国府)、永森可寛(野田)、蒲原さよ子(天籟)、中村敏夫(三和)



このページは市民の皆さんが作るページです。どんなことでも結構です。お気軽に皆さんの「声」をお寄せください。
あて先は、南国市広報委員会(〒783 南国市大桶甲一三〇一)です。